

## 夏の教室 質疑関係

夏の教室で、質疑に十分な時間を取ることができなかった講義がありました。当該の先生方は多忙な先生方が多いので、記録を担当した新井が、ネットワークの経済学者の先生方（中川先生など）にお尋ねして回答をまとめました。ご了承いただければ幸いです。

### 大竹先生講義分

- 1 行動経済学と心理学はどう違いますか？
- 2 行動経済学の知見を、今教えている教科（商業高校でのマーケティング）や消費者教育に生かすことはできますか？
- 3 良い参考文献を教えてください。

回答 行動経済学は心理学の知見を経済学に応用したものと理解してもらえばよいでしょう。当初は経済心理学という言葉で紹介されたこともありました。カーネマン自身も心理学部で教えていた意思決定論の専門家でした。参考資料は、配布した資料の最後に載っています。

- 4 ホモエコノミクスではなく人間から見ると需要曲線や供給曲線は変わりますか？

回答 ほとんど変わりません。多少の違いはあるでしょうが、人間全員が誤るわけではありませんので、基本的な構図は変わらないと考えられます。

### 中川先生講義分

- 1 大学進学をしない生徒たちは今のような劣悪な労働環境でも仕方がないとお考えですか？また、貧困世帯を受け入れるために大学の授業料の無償化が必要ではありませんか？

回答 人的資本の蓄積の問題と労働環境の問題は別のもので、労働環境の改善は必要だと思っています。後者の質問は、無償化では問題は解決しません。もし現状で無償化したらいわゆる混雑問題が起こってしまいます。もし貧しくて学べないという学生がいたら、授業料の無償化より、奨学金の拡充やバウチャーのような補助の方が経済学的にはよいと言えるでしょう。

- 2 余剰についてなかなか具体的なイメージが持てませんでした。高校生にとってイメージしやすい具体例を教えてください。

回答 アルバイトをするときの時給で考えてみるとよいでしょう。自分は700円でいいと思っているのに850円の時給だったら、150円分得をします。それがこの場合でいえば余剰（売り手の余剰だから生産者余剰）です。雇う方から言えば、人手不足で1000円出し

てもよいと言う時に、850円で時給が決まったら150円分得をします。これも余剰（買手の余剰だから消費者余剰）です。こんな風に例を出したらどうでしょうか。

- 3 労働を貸し出す言う言葉を使っていましたが、労働力の売買と理解してよろしいですか？

回答 それでかまいません。

新井担当分

- 1 いわゆる底辺校（教育困難校）に転勤してショックを受け、どう生徒に教えるべきか悩んでいます。まじめに努力している生徒でも正社員になれず、やむをえずフリーターになってゆきます。このような生徒に夢を与える授業ができるのでしょうか。

回答 難しい問題です。簡単に回答はできませんが、そのような生徒たちだからこそしっかり学ばせる必要があると思います。まずはSOSの知識だと思います。例えば労働問題では、どこにゆけば相談ができるかというような知識はぜひ教えたいたいです。また、世の中の具体的な事例をたくさん紹介して、そのなかから考え方のコアのようなものを伝えられるとよいでしょう。ある定時制高校の先生は、機会費用の話や、校舎への破壊や街の落書きを通しておしえたと言いました。落書きの例では、ペンキ職人の生徒が塗りなおすにはこれだけの金額が必要だと教えてくれて、それをやったらどのくらいの損害がかかるかという話になったそうです。アルバイトをしている生徒からアンケートを取り、そこから労働問題を考えさせている大阪の高校の先生もいます。生徒たちの現実のどこかに、授業に展開できる事例が見つかると思います。そこから突破口をひらくことを期待しています。

- 2 ディベートはどのような形で具体的にされていますか？

回答 3学期の総括でやります。テーマは教科書の最後にある環境や農業などの選択テーマです。図書館とタイアップしてリサーチの時間を取ります。授業ディベートなので、簡易型です。また、ディベーターだけでなく、生徒たちからの質問の時間も取り入れます。取り上げたテーマを定期テストで再論（600字の小論文）させます。

- 3 『世の中なんでも経済学』『出社が楽しい経済学』はコピーできますか？

回答 前者はテープがNHKから出されていますが、入手は困難です。図書館や資料室などにはおいてある可能性はあります。後者は市販されているのでそれで入手されると良いと思います。

- 4 株式学習ゲームは授業内でやっているのですか？

回答 授業内です。そのために、PC教室などでの授業をやるようにしています。